

平成二十八年度 中学一般 問題用紙

一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

※ カギ括弧・句読点などの記号も一字と数えます。

きまぐれと、飽きっぽさは、ねこの性格の代名詞のようなものです。「そこが、またたまらないねこの魅力」と思う方もおられますし、一方で「だからねこは好きになれない」と思う方もおられるでしょう。①ねこのきまぐれと飽きっぽさは、「いぬ」の忠実さと我慢強さと全くⅠ的ちまたです。巷ちまたでの「ねこ派」対「いぬ派」の二元論も、あながち間違いいではないというよりも、むしろ相反する両者の魅力の違いをよく言い当てていると私は思います。

「ねこ」も「いぬ」もその性格の違いは、そもそも野生のネコ科動物とイヌ科動物の生活の違い、特にハンティング方法の違いが、如実に ア ハンエイハンエイされています。ネコ科動物はライオンなどの例外はあるものの、基本的に単独で生活し、狩りも単独で行います。従って、自分に必要なことはすべて自分で決定し、単独で行動しなければなりません。ねこには、相手の顔色をうかがって行動する必要などありません。これが人間の目には、きまぐれで、ワガママで、マイペースというふうに映ってしまいます。A、そうでなくては野生の イ キビイキビしい環境では、ねこは生き残っていくことはできないのです。

一方、イヌ科動物は群れなどの集団で生活し、狩りをするときも群れで協力して行います。組織的な狩りには司令塔となるリーダーが必要ですし、メンバー間で協力しながら、効率よく狩りを成功させるためには、無用な争いを避けるための序列も必要となります。身勝手な行動は許されません。従って、いぬの社会には服従と忠実さが必要となります。Ⅱ人間社会の組織を見ているようです。いぬは、

このような集団生活の掟おきてを守ることができなければ、群れのなかで生きていくことができないのです。次に、ねこの飽きっぽさですが、これもネコ科動物のハンティングの仕方に由来します。ねこのハンティングは獲物に忍び足で近づき、射程距離内に入ると、爆発的な瞬発力を武器に、一気に飛びかかって短時間で②勝負を決めます。しかし、運悪く獲物を取り逃がすと、③深追いをせずにすぐにあきらめてしまいます。それは、ねこは爆発的な瞬発力を発揮できる反面、それを持続させることができない身体構造になっているからです。もう少し詳しく述べると、ねこの筋肉には「白筋」が多く、この筋肉は、瞬発力に優れますが、その力を短い間しか持続することはできません。ウ ジョウクジョウク100キロで走ることできるチーターも、わずかに十数秒しかその速度を維持できません。人間でいえばねこは短距離のスプリンタータイプです。したがって、ねこの飽きっぽいのは、決して怠け者というわけではなく、激しい動きを連続させることができない生理的な理由からです。エ シツパイシツパイしても次のチャンスまで、たっぷりと休んで体力を回復させる、それが「ねこの生き方」です。

一方、いぬの我慢強さもイヌ科動物の狩りの仕方に由来します。いぬは集団で組織的に獲物を追いかけます。ねこのような瞬発力はありませんので、とにかく、時間をかけて、我慢強く獲物のあとを追いかけて走りつづけます。獲物を見失いそうになれば、その時は驚異的な嗅覚きゆうかくを使って獲物のあとを追跡します。B、相手が疲れたところで、集団で獲物に噛み付いて出血させ、動けなくなったところを仕留めます。ねこのように一撃で仕留めることはできません。いぬは、ねこのような瞬発力はありませんが、Ⅲの選手のように、長時間持続して走ることができる身体に進化しています。筋肉も、ねことは違い、走りを持続できる「赤筋」の割合が多くなっています。したがって、いぬの我慢強さは、このような長期戦の狩りの方法に由来しています。ひとつの長期的な大きな目標に向かって、多少のことは我慢しながらも、みんなで仲良く一丸となってやり遂げる、これが「いぬの生き方」でしょうか。

C、ねこ好きの「ねこ派」と、いぬ好きの「いぬ派」に加えて、巷では、「ねこ」のような性格を持った人を「ねこ型人間」、「いぬ」のような性格の人を「いぬ型人間」と言うようです。とはいっても、集団行動や上下関係を重視する日本の社会は、まさに「いぬ型社会」です。マイペースで協調

性のない「ねこ型人間」が素のままでは、同僚たちともうまくやっていけるとは思えません。会社などの組織のなかでは、本来「ねこ型」の人も、多少は「いぬ型」のふりでもして上手くやっていくか、あるいは特技や才能のある「ねこ型人間」であれば、芸術活動なり個人事業でも始めて、我が道突き進むのが「④ねこ型人間の生き方」でしょうか。しかし、「いぬ型社会」は協調性や上下関係を重視するあまり、間違った方向に暴走しかねない危険性があることも オレキシをふりかえれば明らかです。アンデルセンの童話「裸の王様」のお話のなかで、「王様は裸だよ！」と叫んだ無邪気な子供のよう、「ねこ型人間」の誰にも媚びない思ったままの一言が、暴走の歯止めになるかもしれません。組織のなかではあまりパツとしないかもしれない「ねこ型人間」も、社会には必要とされる存在なのです。

(山根明弘「ねこの秘密」より)

注

巷・・・世間。

ハンティング・・・狩り。

如実に・・・そのままに。

問一 二重線部アくオのカタカナを漢字に改めなさい。

問二 傍線部①「ねこのきまぐれ」とありますが、ねこが「きまぐれ」だと思われる理由を二十五字以内で答えなさい。

問三

I

 にあてはまる言葉として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 対症 イ 対称 ウ 対象 エ 対照

問四

A

 く

C

 にあてはまる言葉をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

ア さて イ しかし ウ だから エ つまり オ そして

問五

II

 にあてはまる言葉として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア まるで イ まさか ウ 全然 エ たぶん

問六 傍線部②「勝負を決めます」とはどのようなことですか。「ねこが」という書き出しに続けて十字以内で答えなさい。

問七 傍線部③「深追いをせずにすぐにあきらめてしまいます」とありますが、それはなぜですか。その理由が書かれている箇所を本文中から三十字以内で探し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問八

III

 にあてはまる言葉として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア サッカー イ マラソン ウ ラグビー エ 野球

問九 傍線部④「ねこ型人間の生き方」とはどのような生き方ですか。三十五字以内で答えなさい。

二 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

※ カギ括弧・句読点などの記号も一字と数えます。

劇場内がゆっくりと暗転していく。それとともに象牙色のカーテンが左右に開き始める。映写機がモニター音も高らかに動き出し、きっかり七秒後、ランプハウスの蓋であるドーサーが跳ね上がった。レンズから放たれたひと筋の光が、闇を切り裂いてスクリーンへと走っていく。本日、四回目の上映スタートだ。

「二号機、架け終わりました」

振り向いて報告する。

「遅いよ」

ルカがチェックのために、右足を引きずりながらやってくる。

「足、大丈夫ですか。無理に歩かないほうが……」

「いいから」

ぼくの言葉を遮って、ルカは映写機のレンズを見た。

「ねえ、恵介。ターレット回すの忘れてない？」

ターレットとは、ア フクスウのレンズが装填されている回転盤のことだ。銀映館の映写機には三種類のレンズが装填されている。この回転盤を回して、フィルムに合わせたレンズを選ばなければいけない。

「あ、忘れてます」

スタートした作品は、シネマスコープ、通称シネスコで上映するものだった。シネスコとは、イ カンタンに言ってしまうえば、横長のスクリーンサイズということになる。予告が終わり、本編スタート前になって、スクリーンが横長に延びるあれだ。それなのにぼくは、ウ ツウジョウビスタサイズのレンズをセットしたままだった。

① まったく……。早くレンズを換えなさい」

ルカの冷たい視線を A と感じつつ、急いでターレットを回してレンズを交換した。 B と彼女を窺うと、あっちを見ろとばかりに、映写機前の映写窓に視線をやっている。スクリーンのピントをチェックしろというのだろう。

「了解です」

腰を屈めて映写窓を覗き込み、ピントをチェックする。スクリーンでは、予告の映像が流れているところだった。字幕を見る限り、ピントは合っているようだ。

② ばか」

いきなり後頭部に衝撃が走った。鼻の頭が映写窓のガラスにぶつかる。

「なにするんですか」

振り返ると、ルカの右手が手刀の形を取っていた。先ほどの衝撃はチョップだったようだ。

「あのさ、恵介。あたし何度も言ったでしょ。映写窓は開けて、ピントも音声もチェックしろって」

「あ……」

ルカから I 言われていた。映写窓のガラス越しにピントを合わせるな。音声も劇場内に流れている音をじかに聞け。

「すみません」

映写窓は内開き式になっている。把手を引いて開け、できた隙間に身を滑り込ませ、ピントと音声をチェックした。

「ピントも音声もオーケーです」

「どれ」

ルカはぼくを押しつけて、映写窓の隙間から上半身を劇場に乗り出す。ぼそりと言った。

「へたくそ」

「え？」

「合っていないよ」

「それでも駄目ですか」

ぼくの問いには答えず、ルカは映写機の傍らに立つと、スクリーンを見つめたまま、すばやくピントのつまみを エ チョウセツした。スクリーンを見つめていると、一瞬ボケたがその後びたっとピントが合う。これ以上ないほど、ぴったりと合った。

「これが合ってるってことよ」

「すみません」

「ねえ、恵介」

ルカはぼくに一瞥いちべつをくれてから、毅然きぜんとした顔を作る。いつものあれを言うつもりらしい。彼女が祖父から聞かされ、受け継いでいるというあの言葉を。

「映画はね、映写があつてやっと成り立つものなの。そして映写技師っていうのは、映画の監督さんや役者さんたち作り手の思いが詰まったフィルムを、お客さんに届ける大切な橋渡し役なの。④仕事に對する誇りとおそれを、いつも意識してなさい。いい？」

ルカは三年前に祖父を亡くしていた。名前は剛造さん。この銀映館の映写業務を長年守ってきた映写技師だったそうで、彼女はいつもぼくへの小言として剛造さんの言葉を語って聞かせる。

「肝に銘じます」

神妙しんみょうに頷うなずいてみせると、⑤ルカは満足そうに微笑んだ。その手はいとおしそうに映写機のランプボックスを撫でている。聞いた話では、彼女はもの心ついたときにはこの映写室で遊んでいたらしく、大きくになるとともに自然と祖父の映写業務を手伝うようになり、祖父亡きあとは専属の映写技師として働いているようだ。

しかしながら、ひとつわからないことがある。

ルカはもう丸三年、映画館の オ タテモノから外へ出ていないのだという。この真っ暗で、機械油のにおいが満ちていて、モーター音の騒々しい映写室で暮らしているというのだ。

「よし。じゃあ、次は第三劇場へ行こうか」

足を引きずりながらルカは歩き始めた。なぜ彼女が映画館から一步も出ないのか、働き始めて一週間が経ついても、誰からも教えてもらっていない。そもそも誰にも尋ねることができないのだ。⑥それが、この銀映館で働く上での条件であったために。

注

(関口尚「シグナル」より)

装填・・・・・・・・・・中につめこんで装置すること。

一瞥・・・・・・・・・・ちらと見ること。

毅然・・・・・・・・・・意志が強く、物事に動ぜずしっかりしているさま。

問一 二重線部アゝオのカタカナを漢字に改めなさい。

問二 傍線部①「まったく・・・・・・・・」。早くレンズを換えなさい」とありますが、このときのルカの

心情として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 作業の遅い恵介に小言を言いながらも、可愛く思っている。

イ どうして恵介はこんなこともできないのかと驚いている。

ウ うまく仕事をこなせない恵介に怒るとともにあきれいている。

エ 手のかかる恵介にはまだまだ自分が必要だと喜んでいる。

問三 A・B にあてはまる言葉をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。
ア よろよろ イ きちきち ウ おずおず エ のびのび オ ひしひし

問四 傍線部②「ばか」とありますが、恵介がこのように言われた理由を四十五字以内で答えなさい。

問五 I にあてはまる言葉として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。
ア 口を酸っぱくして イ 口を滑らせて ウ 口を合わせて エ 口を添えて

問六 傍線部④「仕事に対する誇りとおそれ」とはどのようなことですか。それを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を十字以内で答えなさい。
【作り手の思いが詰まったフィルムをお客さんに届ける映写技師がいなければ映画は成り立たないものであり、()ということ。】

問七 傍線部⑤「ルカは満足そうに微笑んだ」とありますが、それはなぜですか。その理由として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。
ア 恵介に自分の言いたいことが伝わったようだから。
イ 祖父から受け継いだ言葉を今日も恵介に言えたから。
ウ 自分が祖父に近づいてきていると感じたから。
エ 祖父の言葉を言うことで、祖父を思い出したから。

問八 傍線部⑥「それ」とはどのようなことですか。二十五字以内で答えなさい。